

2011.6.10

宮城県石巻市医療支援チーム（Aチーム）派遣報告書

派遣先：宮城県石巻圏合同救護チーム（石巻赤十字病院内災害救護本部）

派遣期間：平成23年6月3日（金）～6月8日（水）

派遣人員：医師 糖尿病内分泌内科 助教 卯木 智

〃 小児科 助教 松井 克之

看護師 看護部 看護師 林 健太郎

〃 〃 〃 布施 ゆか

薬剤師 薬剤部 薬剤師 神谷 貴樹

事務職員 学生課 課長 湯浅 賢一 以上6名

支援概要：本支援は、国立大学協会及び国立大学附属病院長会議からの要請を受け、国立大学附属病院が各地区単位でチームを組みリレー方式で支援を行うことにより、それぞれの大学病院の負担を軽減することができ、中長期に渡って支援活動が可能となり、各大学病院の医療支援の枠組みにも活かしつつ、支援を拡充する方向で活動するものです。各大学は、宮城県石巻圏合同救護チームを編成し、活動拠点の石巻赤十字病院内災害救護本部へ派遣することとなった。

主たる活動地域の宮城県石巻市大街道地区（エリア5）は今回の災害でも特に多くの被害を受けた地域であり、そこに直接赴き、各避難所を巡回して診療活動を行い、被災地域の復興に資する医療支援活動を行うものである。

医療支援場所：エリア5（石巻市大街道地区）の5箇所の避難所を担当した。

支援引継：京都大学チームからの引継ぎは「訪問頻度は本部の方針に従い、徐々に減少、いずれ閉鎖の方向で」との申送があった。その理由として、避難所近隣の開業医や病院が再開されてきており、基本的に地元地域で診療を受けるように被災者へは説明し、地域で受診されるまでの繋ぎとして院外処方を実施すること。ただし、土日などで薬が受け取れない等で1～数回分を手持ちの薬剤で対処することなどであった。

また、災害救護本部より下記の2点について確認するように要請があった。

- ① 避難所となっている学校では、再津波時に校舎屋上等への避難が最適と指示されているとのことだが、屋上への鍵がすぐには開けられないなどの問題がある。（大街道小学校・青葉中学校のみ確認できた。好文館高校の確認はできていない。）
- ② 夏場の防虫対策が必要かどうかの確認を行うこと。具体的には学校プールの衛生状態（青葉中学校は、普通の状態。釜小学校は未確認、大街道小学校は非常に汚い）

【活動報告】

石巻の医療はもともと石巻赤十字病院と石巻市立病院によって支えられていたが、市立病院が1階水没のため、機能停止となり、赤十字病院のみで医療を支えなければならないことになった。災害救護本部も赤十字病院内に設置され、全国から派遣されてくる災害派遣医療チームの統括も行っている。本部は石巻市を数エリアに分割し、各派遣医療チームがそれぞれのエリアを担当するという形式になっている。我々の担当したエリアは海岸に近く、激しい被害を受けた地区であったが、避難所は落ち着きを取り戻しているようであった。近くの開業医や病院も診療を開始しており、支援チームの医療ニーズは現在では少なくなっている。今後はいかに、もともとの地域医療へ移行させていくかが課題と考えられた。しかし、医療ニーズは少なくなっているものの、避難所の状況を直接訪問し、そこで働いている看護師、避難所リーダー、避難者から直接話を聞くことで、被災地の状況、問題点、今後考えなくてはいけないこと、等についての理解、問題点の整理がついた。今後、これらを、我々が伝えていくことによって、多くの問題点、課題を共有し、問題解決につなげていく必要があると感じた。

【活動経過】

6月3日（金）

- 9：20 寺田教授、酒井副病院長、藤野看護部長をはじめ、たくさんの方々に見送られ、タクシー2台に分乗し、瀬田駅へ向う。
- 12：02 京都駅発のぞみ228号、10：40東京駅発つばさ33号を乗り継ぎ、仙台駅に到着。到着後33番バス乗り場から石巻駅経由、タクシーで石巻赤十字病院内災害救護本部に到着。京都大学の担当者に待って頂いていた。
- 17：00 京都大学から引き継ぎを受ける。その後、合同救護チーム（石巻赤十字病院内災害救護本部）からブリーフィングを受けた。（医療圏の規模、被災状況等）
- 18：00 全体ミーティングに参加。（当日の問題点・連絡事項等の情報交換）



京都大学との引継
(宿舎玄関前)

6月4日（土）

- 10：20 好文館高校到着。京都大学から診療場所の確保、避難所リーダーからの聞き取り、診療方法との具体的な手順の引き継ぎを受けた。
- 11：00 好文館高校は、1階と2階の両方が避難所として使われており、62名の方

が避難されていた。当初は週2回の訪問診療を行っていたが、週1回に減少（土曜日の午前中）し、6月18日の巡回診療時に終了させるか否かの判断を避難所のリーダーと検討するように申し送りすることとした。この件の可能性を伝えることとした。（好文館高校）① 再津波時は、2階への誘導避難が少しだけ最適と考える。② 防虫対策などの衛生状態は、一般的なレベルと変わらない。

（避難所内の一画をお借りした診察）



滋賀医科大学をPR→



14:00 震災状況の視察を行った。特に北上川沿いにある大川小学校は全校生徒の3分の2が犠牲となるなど学校の安全性が問われている。未だ続く余震の中、行方不明者の捜索が続いていた。



← 大川小学校
（中央茶色の建物）

捜索を続ける警察関係者



（この場所を越えて津波が押し寄せた。）

16:00 震災状況の視察を行った。石巻市民病院は、石巻市の旧北上川河口に平成10年1月に開院。14の診療科と206床の急性期病床を有する石巻医療圏23万人の二次医療を担っていた。少し離れた所からは、建物の威厳を保ってはいたが、病院に通じる道は、海水の満ち引きが起きており、そこまでたどり着くことはできない状況であった。近くには丸い大きな背の低い手洗い場の跡があり、ここに保育園があった事実を伝えていた。全員が無事に避難できていたと願わずにはいられなかった。



17:00 石巻赤十字病院内災害救護本部に戻り、アセスメントレポートの作成を行い、救護日誌とともに提出を行った。なお、全体ミーティングは、土日には開催されなくなっていた。

6月5日(日)

9:20 青葉中学校到着。リーダーの加藤さま(神奈川県)、石巻市民病院竹山看護師(休日であったが10時前には出勤)と調整を図り、中学校の保健室を救護室(診療ブースを2つ確保)としてお借りし、診療を開始した。現在は254名の避難者が居るが、5月初旬に救護室を一旦閉鎖した。その後継続要望があったため、週1日の巡回診療を再開したとのこと。当初は、日曜日の午前・午後であったが、午前のみ更に縮小した。6月19日の巡回診療(京都大学)が最後になる可能性である旨を伝えた。(12時過ぎに業務を終了)



↓ プール水も採取



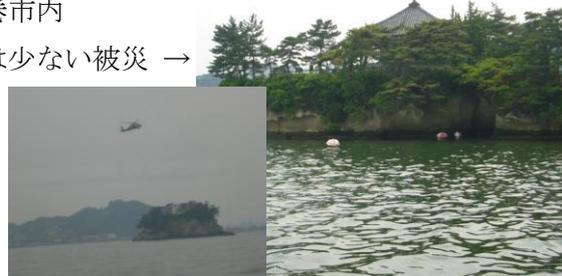
14:00 石巻赤十字病院内災害救護本部に戻り、救護日誌、アセスメントレポートの提出を行った。(全体ミーティングは無い)

16:00 震災状況の視察を行った。松島地域は被災状況が奇跡的に皆無であったと聞いていたが、港近くの駐車場は冠水したと思われる砂溜まりが確認できた。また、海上では捜索ヘリが漂流物確認のため、ホバーリングしていた。

(この違いは何処から?)

← 石巻市内

松島は少ない被災 →



6月6日(月)

10:00 大街道小学校到着。副リーダーの飯盛さま、石巻市民病院中里看護師さまと調整を図り、避難所体育館端の救護ブースを借用し、診療を開始。現在は139名の避難者が居るが、診察患者は想定以上に少なかった。受診者が減少していることから、週3回から2回に縮小し、更に6月16日より週1回の診療となる予定と聞いた。

避難所横にあるプールが津波による冠水で赤く変色しているとの情報があり、確認を行った。何らかのプランクトンの発生が考えられたが、その特定には至らなかった。(市役所でも状態を把握しており、近日中に薬剤を散布する予定) 赤いプール水↓



14:00 釜会館到着。2階部分は津波の被害を免れたことから当初から避難場所として活用していた所であるが、特定のリーダーは不在である。地域のコミュニティーを大切にしている高齢者が避難されており、医療支援の在り方や避難者の生活環境を考えた行政側の支援と地域コミュニティーの尊厳など複雑な場面と認識した。

(避難所は震災地域のど真ん中。手洗いも工夫されていたが、向上が望まれる。)



15:30 石巻市民病院の看護師宿舎の視察を行った。2階部分まで浸水し、当時の困難な避難状況が推測された。また、沿岸部の工業地帯は壊滅的な状況ながら工場関係者が復興・再開に向けて努力されている姿に励まされた。



16:00 石巻赤十字病院内災害救護本部に戻り、救護日誌、アセスメントレポートの提出を行った。

18:00 全体ミーティングに参加。(問題点・連絡事項等の情報共有)

6月7日(火)

10:00 第一ひたかみ園到着。施設支援ボランティアの遠藤さまとボランティアの棚林さま、矢野川さまと調整を図り、施設内救護所を借用し、診療を開始。現在は72名(職員、ボランティアを含む)の居住避難者が居るが、診察患者はやはり数名であった。この施設は、もともと知的障害施設であり、建て替える予定で3月末に閉鎖予定であったが、津波被害を逃れたことから他施設に移動していた元の施設入居者の受入れを急遽行った。現在、週2回の診療を1回へ減少させることも検討されていた。また、6月20日には閉所予定であり、炊き出しも週2回から1回に減っていたが、比較的住環境は落ち着いていた。



14:00 市内の調剤薬局2箇所に訪問し、支援チームが発行する院外処方箋の問題などについて聞き取り調査を行った。

15:00 市役所を訪問し、保健師と面談し、ワクチン行政や今後仮設住宅入所者の健康問題などにつき聞き取りを行った。

(松井医師による聞き取り調査) (石巻市役所) (神谷薬剤師による聞き取り調査)



16:00 石巻赤十字病院内災害救護本部に戻り、救護日誌、アセスメントレポートの提出を行った。

17:00 福井大学への引継業務を行った。全体引継、その後、医師、薬剤師、看護師、事務職員毎の個別業務の引き継ぎを行った。

18:00 全体ミーティングに参加。(当日の問題点発表等の情報交換)

18:50 担当したエリア5のヒヤリングが実施されることになり、石巻赤十字病院内災害救護本部の石井先生との直接ヒヤリングを行った。

(福井大学同席、業務の引き継ぎ) (全体ミーティングで質問する神谷薬剤師)



(石井先生とのヒヤリング)

6月8日(水)

10:00 松島駅出発。 17:50 全員無事に帰着。